

報道関係者 様

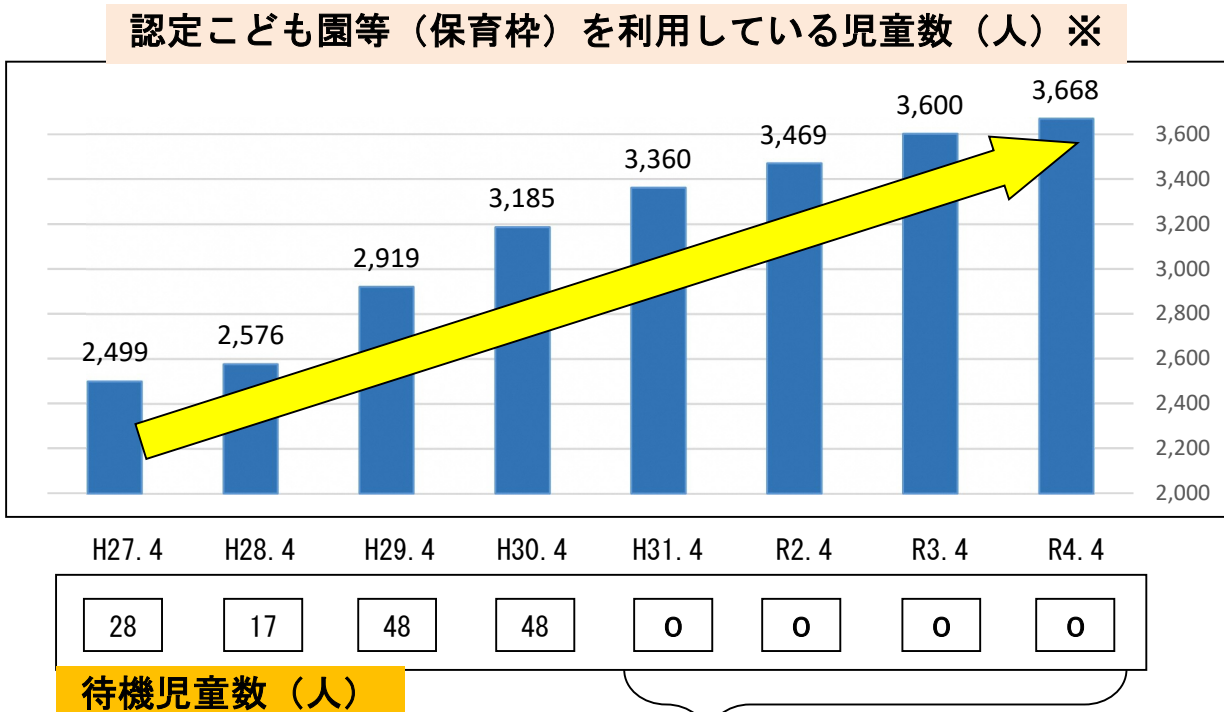
認定こども園等の「入園動向（令和4年4月1日現在）」（速報）について

4年連続待機児童(厚生労働省基準)「ゼロ」を達成！！

～子育てするなら守口市がちょうどええ～

守口市では、認定こども園等（保育枠）を利用する児童数が年々増加していますが、保育の受け皿拡大や保育人材の積極的な確保により平成31年度以降、**4年連続で待機児童（厚生労働省基準）「ゼロ」を達成**しましたのでお知らせいたします（※詳細は以下のとおり）。

1 認定こども園等（保育枠）を利用している児童数及び待機児童数の推移



待機児童 4年連続「ゼロ」!!

※継続利用を含む市内特定教育・保育施設等（保育枠）を利用する市内在住児童数（委託児童を除く）

2 認定こども園等の入園状況

(単位：人)

		R4.4	R3.4	R2.4	H31.4	H30.4	H29.4
認定こども園等	新規利用申し込み数	A 1,092	993	1,040	1,101	1,171	1,052
認定こども園等	新規利用決定児童数	B 883	847	877	963	929	899
未利用児童数(A-B)		C 209	146	163	138	242	153
	求職活動休止中	D 60	40	25	50	73	
	育児休業等	E 19	5	4	15	9	2
	一時預かり等対応幼稚園	F		4	2	9	
	企業主導型保育事業	G 17	7	14	8	5	
	特定の園のご希望者	H 113	94	116	63	98	103
厚労省定義の待機児童数(C-D-E-F-G-H)		0	0	0	0	48	48

※「新規利用決定児童数」には、内定辞退者を含む。

※「新規利用申し込み数」及び「利用決定児童数」には委託児童を含まない。

3 今後の対応について

今後も引き続き待機児童「ゼロ」を継続するために「保育の受け皿確保」に努めるとともに、「保育の質の確保」にも取り組んでまいります。また、保護者の希望に寄り添いながらより一層きめ細やかなマッチングに努めるなど、子育て支援の更なる充実を図り、「子育て環境日本一」を目指してまいります。

保育の受け皿・保育の質の確保に向けた取組（一部抜粋）

○保育ニーズの高い年齢、認定区分の定員拡大

令和4年度の入園に向けた保育ニーズに対応するため、市立認定こども園において定員の見直しを行うとともに、民間教育・保育事業者に対しても、保育ニーズの高い年齢や認定区分ごとの定員拡大への働きかけを行いました。今後も保護者の保育ニーズに対応するための保育の受け皿の拡大に取り組みます。

○安心・安全な教育・保育環境を計画的に整備

民間認定こども園が実施する園舎の老朽化対策及び本市の保育ニーズの高い年齢児の受入定員の拡大を図るための施設整備に係る費用の一部を補助します。

○保育士の緊急確保に向けた取組

市内民間認定こども園及び保育所に新卒で採用された保育教諭等に対し、民間教育・保育事業者との協働により、本市と事業者がそれぞれ最大20万円を負担して1年間で40万円の補助を実施しています。

令和4年度は、この制度を利用して80人程度の採用を見込んでいます。

※令和3年から令和5年度までの緊急事業として実施中です。



守口市の主な取り組み

- ① 全国に先駆けて平成 29 年度から0歳～5歳児の「幼児教育・保育の無償化」を実施
- ② 市独自に認定こども園等に通園する児童の給食費の一部を補助
- ③ 0歳から 18 歳までの医療費を助成



子育て世帯から選ばれるまち

※令和2年の国勢調査において子育て世帯が増加(人口も北河内地域で唯一増加)



ほかにも…

☆子どもたちが楽しめるきれいな公園や図書館なども充実



令和4年度から新たに実施

○医療的ケア児受入支援事業

市内の認定こども園等において、医療的ケア児の受け入れ体制を強化するため、医療的ケアを実施する看護師を配置または訪問看護ステーションから派遣することにより、保育を必要とする医療的ケア児が安心して施設を利用できる環境を整備します。



【問合せ】

守口市役所 こども部 こども施設課 電話 06-6992-1637 (直通)